

## 妹はせん国時だいのひめ?!

小松 丈紘

ぼくのいもうと「モモ」はかわいいかおをしているのに、ウンコがアフリカゾウやコビトカバみたいにくさい。そのオムツでねっころがってまったりしているぼくのかおをふみつけてベンチがわりにする。「さいだというのにわんぱくでぼう力ちからできなときもある、男おとこの子こみたいな女おんなの子こだ。でもいつもぼくといっしょにあそんでくれるさいあいの友ともであり、ママやおばあちゃんをめぐるさいだいのてきでもある。

ぼくがすきなせん国こくじだいの人じんぶつでたとえると、ママやおばあちゃんは色白いろしろでかわいい「モモ」のことを、織田おだ信長のぶながの妹いもうとの「お市いちさま」のように「モモひめ、モモひめ」とかわいがる。でもぼくにとって妹いもうとは、ものすごくせん力ちからがつよい「小松こまつひめ」のようにかんじる。ちようど名字なまじが小松こまつだからますますそう思う。

「小松こまつひめ」とは、ぼくが好きなせんごくぶしょうトップ3スリーに入る、本多ほんた忠勝ただかつのむすめだ。忠勝ただかつは五十七ごじちゅうななせんむきずでたたかったほどつよくて、頭かぶが良く、せんりやく家のぶしょうだ。それほどすごい男おとこのむすめ「小松こまつひめ」。ぼくがお父ちちさんと行ったさい玉たまの「忍城おしのしろ」の水みづぜめの時ときにも男おとこたちにまざってゆうかんにたたかったひめだ。

そんなつよい「小松こまつひめ」みたいなぼくの妹いもうとだけど、やっぱりわが家いへにいてほしいそんざいである。ごはんをパクパク・モグモグ食べている時ときのすがたや、いっしょに好きな音おん楽がくを聞いてノリノリでおどるすがたは、とつてもかわいくて、毎日まいにちずーつといっしょにいたいそんざいだ。

ぼくは今まで一人ひとりっ子こで、そんなに楽しくない六年間ろくねんかんだったけれど、妹いもうとが生まれてからはなんだか楽しくなってきた。朝あさ、学校がっこうへ行く前にギューッとハグをすると、なんだか一日いちにち元氣げんきがもらえる。「小松こまつひめ」みたいな妹いもうとよ、ぼくに元氣げんきをくれてありがとう。

妹いもうとは小さかったのでちゃんと生まれてくるか家いへぞく全員ぜんいんずつと心こころばいしつづけてきた。元氣げんきに生まれてきてくれて、ここまで大きくつよくなってくれてありがとう。

「小松こまつひめ」よ！せつしやは今日けふも元氣げんきに出陣しゅつじんするぞ!!